

平成27年度第2回健康日本21こまき計画推進会議録

【日時】 平成28年2月10日(水) 14:00～15:30

【場所】 小牧市保健センター 2階 大会議室

【出席者】 (委員13名)

後藤恒規、吉田雄一、森雅典、林芳樹、高木康司、松浦治、中西正巳
塚本勢津夫、倉知日出美、伊藤和俊、鈴木英治、木村隆、花村琴美 (敬称略)
(事務局9名)

山田健康福祉部次長、江崎所長、岡本母子保健係長、森主査、佐々木主任、
長谷川、松本、落合、赤塚

【次第】 1 開会

2 あいさつ

3 新委員の紹介

4 会長あいさつ

5 議題

(1) 第2次健康日本21こまき計画健康こまきいきいきプラン進捗状況について

6 報告

(1) 平成27年度こまき健康マイレージ事業中間報告について

7 閉会

【議事】

(事務局) 本日は、ご多忙の中、ご出席を賜り誠にありがとうございます。

定刻になりましたので、只今より「平成27年度 第2回健康日本21こまき計画推進会議」を開催させていただきます。

本日、ご欠席の連絡をいただいておりますのは、小牧市医師会会員 三輪貴彦委員、小牧市薬剤師会 会長 木全勝彦委員、教育長 安藤和憲委員 の3名でございます。

それでは、会に先立ちまして山田健康福祉部次長よりごあいさつを申し上げます。

(事務局) みなさん、こんにちは。

本日はお忙しい中、当会議にご出席賜り、ありがとうございます。

本来ならば、部長がご挨拶申し上げるべきところではございますが、別の会議と重なっておりますため、私の方からご挨拶申し上げます。

さてこの「健康日本21こまき計画」でございますけれども、市民が積極的に健康づくりに取り組んで社会全体がそれを支援する、そしていきいきとした長寿社会、これを基本理念といたしまして、その実現に向け、地域で支える健康づくりの推進、働く世代の検診受診率の向上、また糖尿病の重症化予防、これらを重点施策と位置

づけ、領域別・ライフステージ別で目標を定め、実行、推進しているところがございます。

本日の議題は一件で、「平成 27 年度のこのプランの取組み進捗状況について」、また報告事項といたしまして今年度より開始いたしました「こまき健康マイレージ事業」の状況につきまして、説明をさせていただきます。

現在、健康づくりの推進といたしまして、様々な事業を担っておりますが、この受診率がなかなか向上していない、というのが課題であります。子宮がん検診や乳がん検診は受診率が低く、平成 26 年度の実績で申しますと、子宮がんは 4.4%、乳がんは 6.9%というような状況でございます。

この対策といたしまして現在、協会けんぽと協働いたしまして、検診の周知等を行っておりますけれども、特に若い世代の方々が健康を意識した生活習慣を身に付けていただけるような取組みが必要ではないかという風に思っております。

本日はこの計画の進捗状況を踏まえまして、委員の皆様のご意見を伺う中で、今後の健康づくり事業に活かしてまいりたいと思っております。よろしく申し上げます。

(事務局) 次に、今回新たに委員となられた方々をご紹介します。
老人クラブ連合会 中西正巳 様、よろしく申し上げます。

(委員) 老人クラブ連合会、中西 正巳と申します。今回初めて選任されました。よろしく申し上げます。

(事務局) ありがとうございます。
続きまして、小牧市議会福祉厚生委員長 鈴木英治 様、よろしく申し上げます。

(委員) 鈴木英治でございます。市議会代表でございます。よろしく申し上げます。

(事務局) ありがとうございました。
続きまして、後藤会長よりごあいさつをいただきます。後藤会長、よろしく申し上げます。

(会長) 会長をつとめさせていただきます、後藤と申します。今日は第二回目ということで、第一回目の結果を踏まえまして、今年度の取組み進捗状況をご報告いただけるということで、非常に期待をしております。
今回、各方面の方々のご意見を頂戴したいと思っております。こうして、健康増進に携わる方々が一同に会して、相互理解の下で、より建設的な意見をいただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

(事務局) ありがとうございます。

この会議につきましては、公開となっておりますので、事務局で会議録を作成し、市役所本庁舎にあります情報公開コーナーにおきまして公開させていただきますのでよろしくお願いいたします。現在のところ傍聴希望者はありません。

続いて資料の確認をさせていただきます。

本日の資料といたしまして、

- ・ 会議次第
 - ・ 健康日本21こまき計画推進会議委員名簿
 - ・ 各部会推進活動報告
 - ・ こまき健康マイレージ 平成27年度の取組みに関する資料
- 以上となりますがお手元にお揃いでしょうか。

では、議事に移ります。

これより、議事の進行を後藤会長にお願いしたいと思います。
後藤会長、よろしくお願いいたします。

(会長) それでは、議事に入ります。

議題 (1) 第2次健康日本21こまき計画 健康こまきいきいきプラン 進捗状況について であります。今年度の取組みについて事務局より説明をお願いします。

(事務局) はい、よろしくお願いいたします。

ではお手元の資料1、1ページ目をご覧ください。

先ほど次長のあいさつの中にもありましたが、現在2次計画として、各取組みを行っているところでございます。1次計画との違いですが、2次においては重点施策として3点挙げさせていただいておりますので、こちらの進捗状況を説明させていただきたいと思っております。

まず1点目、「地域で支える健康づくりの推進」ということで、行政・関係機関のみではなく、地域・団体の皆様方と力をあわせて健康づくりを推進していく、というのが重点施策の一番大きなところでございます。

現在、保健センターとタッグを組んで活動していただいているのが保健連絡員の皆さま、そして食生活改善推進員の皆さまが主な団体でございます。

保健連絡員に関しましては、同じ地区に住んでいらっしゃる地域の皆さまの健康づくりに関して、区長さんと協働しながらご活躍いただいている皆さま方ござ

います。主な活動として、市内 6 つの各地区に分かれ、健康展を開催していただいております。また、がん死亡撲滅モデル地区に関しましては、今年度、巾下地区及び小牧南地区におきまして推進していただいているところでございます。がんの検診車を各地区に配置しまして、がん検診の普及開発及び受診率の向上に向けた取り組みやこれにあわせて健康づくりに関する取り組みを実施していただいております。

もう 1 点、ウォーキング大会については、北里、桃花台、南の各地区におきまして、区民の皆様を対象として開催いただいております。

また、それぞれの地区におきまして、健康講座を開催いただいております。

3 月には、地区の回覧を通じて、健康づくりに関する情報を発信する活動を行っていただいております。6 つの地区それぞれで健康に関するテーマを決めて学習会を行い、取組んだ内容をまとめ、地区の回覧として地域の皆様方へ発信し、情報提供を行っていただいております。

続きまして、食生活改善推進員の皆様方についてですが、「食」を通して市民の健康づくりに取組んでいただいている皆様方であります。現在、38 名の方々が会員としてご登録いただいている団体であります。

地域の活動といたしましては、親子の食育教室や男性のための料理教室を開催したり、小学校の家庭科の調理実習のサポートをされたりといった活動を行っていただいております。その他の事業といたしましては、小牧市歯科医師会が中心となって開催される、子どものむし歯予防イベント「歯ピカピック」でも、ご活躍いただいております。今年度は、噛みごたえのあるおやつについてご紹介いただいておりますし、また野菜の摂取量の増加に向けた取り組みも行っていました。周知活動の一環といたしまして、広報こまきで年 6 回、記事を掲載され、市民に向け情報を発信いただいております。

2 点目の重点施策事業といたしまして、働く世代の健診・検診受診率の向上を柱に置いております。若い世代の検診受診率が低い状況でありますことから、何とかしてこの改善に向け、努力をしていこうというのが狙いであります。対策といたしまして、協会けんぽ 愛知支部を協働し、検診の PR を行ったり、被扶養者を対象とした人間ドックを推進しております。これについては平成 26 年度より開始いたしております、今年度も継続しているところでございます。平成 26 年度は、被扶養者 219 名の方が人間ドックを受診していただいた、という結果が出ております。今年度につきましては、現在のところの受診者数が 245 名となっております。最終的な数字がまとまりましたらまた、ご報告させていただきたいと思っております。

商工会議所との協働事業としては、会員の健康診断の場を利用させていただき歯周病に関する意識の調査、また個別指導の実施をいたしました。

続きまして3点目、糖尿病重症化予防といたしまして、市役所 保険年金課と連携し、特定健診受診後のハイリスク者への受診勧奨を個別で通知する際、身体及び歯や歯肉の健康に関する意識の向上を図るためチラシの同封を行いました。

保健センター、既存の事業といたしまして、健康相談事業がございしますが、この事業を活用し、ヤング健診の結果説明を行い、健康相談事業の充実化を図ったり、協会けんぽさんが実施する被扶養者を対象とした特定保健指導を小牧の対象者の方に関しましては保健センターを会場に実施を予定しております。この機会を活用し、歯科保健指導を実施し、歯や歯肉の健康に関する意識の向上を図る予定であります。

この事業に関しては、今年度新規で実施させていただく予定です。

最後に、ペットの飼い主に対する普及啓発ということで、獣医師会と連携し、成人の歯周疾患予防に関する案内チラシを配布し、飼い主さん自身の歯や歯肉の健康に関する意識の向上を図る予定であります。

以上で説明を終わります。

続きまして、各部会の説明を事務局より行いたいと思います。

(事務局) ではまず、栄養・食生活部会より報告させていただきます。

資料の3ページをご覧ください。

平成27年度取り組み進捗状況についてご報告させていただきます。

まず「望ましい体格を知るためのリーフレット」を市内小学5年生および中学2年生に対して9月上旬に配布し、リーフレットを子どもたちに効果的に活用してもらえるよう、学級担任の先生への要点をまとめた簡易マニュアルも作成しました。

今年度は夏休み明けの9月上旬に配布しましたが、9月は運動会など学校行事で忙しい時期でもあるため、来年度以降の配布時期については検討中です。

次に青年期・壮年期に対する朝食啓発・肥満予防パンフレットの配布を行いました。主に保健センターの事業である35歳から39歳までのヤング健診の結果説明の際に食生活の改善への意識付けのために活用し、また、地域の健康展や歯ピカピックの際に、食生活改善推進員のコーナーにて配布しました。

食の環境整備の検討として、H27年度栄養・食生活部会の設定する小牧市ヘルシーメニューは、エネルギー700kcal等5項目のうちで3項目を満たすものをヘルシーメニューとして認定することで検討しています。

現在、3店舗にヘルシーメニューの協力について申し出をいただいているところです。

今後は、ヘルシーメニューに協力してくれる店舗のPRや認定方法、ヘルシーメニューの種類、頻度等について具体的な内容について検討を予定しています。PR方法や認定方法についてご意見いただきますようお願いいたします。

(事務局) 続きまして、身体活動・運動部会の報告をさせていただきます。

資料4 ページをご覧ください。

今年度の取り組みとして、(1) 身体活動・運動に関する情報の提供として、① 身体活動・運動の効果についての情報提供をはかる ②安全に歩くためのウォーキング知識の普及 (2) 転倒予防・筋力低下予防に関する知識の普及です。

取り組み進捗状況について説明させていただきます。

まず1点目、身体活動・運動に関する情報の提供として①身体活動・運動の効果についての情報提供を図る、については、日常生活を送る中の行動に対して働きかけることが必要ではないかとの話し合いを行いました。意識的に体を動かすために日常生活に取り入れやすい活動として、エレベーターやエスカレーターではなく、階段を使おうと思えるような啓発ポスターを作成しました。ポスター案は資料の5ページです。市役所や市民センター、商業施設などへの掲示を考えておりますが、他の掲示場所についてご意見がありましたらお願いいたします。

②安全に歩くためのウォーキング知識の普及では、現在のウォーキングマップでは安全に歩くための知識には欠けるのではないかとの話し合いから、安全に歩くための知識を盛り込んだチラシとの併用や、ウォーキングマップの内容の見直しなど来年度も検討を継続していく予定です。

2点目、転倒予防・筋力低下予防に関する知識の普及では、ロコモティブシンドロームについて広報での啓発を検討中です。以上で身体活動・運動部会の報告を終わります。

(事務局) 続きまして、休養・こころの健康部会の進捗状況について説明させていただきます。6 ページをご覧ください。

自己肯定感の醸成というところで、内閣府の地域自殺対策緊急強化事業を活用し、うつ病になるまえに、普段から話ができる、また聴ける関係づくりを目指し、ゲートキーパー養成講座を実施しました。保健連絡員に傾聴を中心とした内容で8月7日、26日と2日間実施し、74名の参加がありました。

今年度新規に社協ボランティア、市民向けに「日常生活に役立つ話の聴き方講座」という内容で1月22日開催に開催しました。68名の参加があり、男性の方も参加いただきました。

市役所関係職員対象としては、「感情をぶつけられた時の対応講座」という内容で2月17日に実施予定です。すでに100名以上の参加希望があり、窓口での対応や、感情コントロールが難しい方への対応について悩んでいる様子があるのかと思われます。

続いて相談の場づくりということで、うつ・自殺対策相談窓口ネットワーク会議の開催を行いました。こちらについては、毎年1回開催させていただいている

ものとなりまして、各相談機関が気軽に相談し合い、問題解決に向けて協力し合うことと、相談能力を向上させていくことを目的とし、11月2日に開催し、24名の参加がありました。各関係機関にご出席いただきまして、顔が見える関係作りに一歩近づいたという印象をもっています。

続いてうつ・自殺予防に向けた啓発として、保健所と連携し、9月・3月にありますうつ・自殺予防週間にあわせ、アピタ小牧店において啓発グッズ(ティッシュ)を配布いたしました。3月分については、後日実施予定です。

続いて、職場のメンタルヘルスセミナーの開催についてですが、こちらについても春日井保健所と共催で講演会を開催しました。今年度は職場のメンタルヘルスチェックがはじまりましたので、犬山病院 精神科医の先生にご講演いただき、普及啓発を行いました。

続きまして、休養についての支援ということで、働く世代のうつ病・睡眠についての啓発を目的として、小牧市薬剤師会にご協力いただき、「眠れていますか？」のしおりを作成し、市民の方へ配布の方を行っております。休養・こころの健康部会の報告は以上となります。

(事務局) 続きまして、タバコアルコール部会の報告をさせていただきます。
資料7ページをご覧ください。

今年度の取り組みとして、1点目、喫煙をしたい人への情報提供の検討、2点目、現在使用中のたばこ・アルコール資料について検討いたしました。

進捗状況についてご説明いたします。

まず1点目、情報提供についてですが、以前実施した市民意識調査より喫煙率が減少し、受動喫煙に対する認知度があがってきている一方で、禁煙に踏み切る気持ちが全くないという方もおられるという結果が出ました。また、喫煙している方の中にはできるなら禁煙したいとは考えているものの踏み切れない方や、一度禁煙したものの再度喫煙してしまった方もおられる現状があります。

そのため部会の中で「禁煙をしたい方への情報提供の充実を図る事」として、「何度でもチャレンジしよう禁煙(仮題)」と題し「禁煙を始める前に知っておいてほしい事」、「禁煙中の生活」、「吸いたくなかった時の対処法」、「禁煙外来の受診方法」、「禁煙外来で何をやるの？」などの内容について、意見を出し合い検討してきました。今後見やすい形にし、ホームページなどで周知していこうと考えています。

また、禁煙を始めた方が禁煙を継続できるようなサポートとして、禁煙カレンダーを作成してはどうかと検討中です。禁煙チャレンジの継続が目に見える形に、また小牧市にちなんだ身近なものに出来ないか検討しております。

続いて2点目、現在使用中の、たばこ・アルコールの資料の見直しとして、喫煙・飲酒が健康に及ぼす影響について認知度が低い情報をまとめたチラシをがん

検診受診時、親子健康手帳交付時に配布しております。

この中に、タバコ・アルコールについての新たな情報の追加を行う予定で、来年度、検討を深めていく予定です。

以上でタバコ・アルコール部会の報告を終わります。

(事務局) 続きまして、歯の健康部会より、今年度の取組み進捗状況について、報告させていただきます。資料8ページ、9ページをご覧ください。

今年度の取組みといたしまして、乳幼児期で4点、学童期で3点、青年期・壮年期として5点、以上を部会の中で検討いたしました。

各進捗状況についてご報告いたします。

取組み進捗状況に挙げております項目のうち、「乳幼児期におけるむし歯対策の推進」として④にあります「園児及び通所施設利用高齢者対策普及啓発活動」について、それから「青年期、壮年期の歯周疾患対策の推進」として③にあります「歯間部清掃具に関する普及啓発活動」及び④にあります「市民病院健診センター利用者対象普及啓発活動」について説明させていただきます。

まず、「園児及び通所施設利用高齢者対策普及啓発活動」ですが、こちらは保育園の交流事業の1つ、「施設訪問活動」のコマを利用して、市内大山保育園とその交流先であります「高齢者 通所介護施設 ケアパートナー小牧」にご協力いただきまして、保育園の子どもたちとデイサービス利用者に歌や手遊びといった交流活動の中に歯みがきを取り入れ、交流を行いました。交流時間がちょうど食後の時間帯でもあったため、歯の部会の主旨も汲み取っていただきながら、今回の交流事業をこういった内容で実施することができ、子ども達からは「おじいちゃん、おばあちゃん達みたいにピカピカの歯で過ごせるよう歯みがきをがんばる」といった声や、デイサービス利用者からは「歯の健康のため、子ども達に歯みがきのお手本を見せなければ」といった声も聞かれました。また、施設の担当者からは「いつもなかなか磨かない方がすごく張り切って歯を磨いてました」といった声も聞かれ、園児、高齢者、双方に歯の健康に関する相乗効果が生まれた、そんな事業になりました。今回の声をもとに、次年度も実施に向けて検討していきたいと思っております。

続いて、「歯間部清掃具に関する普及啓発活動」ですが、こちらは昨年度からの継続事業になります。ペットを飼っている、特にシニア層を対象に、飼い主の歯周疾患対策の推進を目的に獣医師、環境対策課と連携し、動物病院に10ページにありますチラシを設置いただき、普及啓発を行い、意識の向上を図っています。

「市民病院健診センター利用者対象普及啓発活動」については、以前推進会議の中で市民病院 副院長先生よりご教示いただき、昨年度より実施させていただいている事業となります。特定健診やがん検診といった健診センター利用者に対し、自分の身体状況、健康状態への意識があがる機会にあわせ、待合の場にチラシを設置し、目を通していただくことで、歯や歯肉の健康に関する意識の向上を図っていき

たいと考えています。

ご意見・ご教示いただきたい内容としまして、1点あげさせていただいております。資料9ページをご覧ください。市民がいくつになっても健康で過ごすためには、健康な歯や歯肉が欠かせない、ということで、市民がむし歯予防、歯周病予防に関する知識を早期に身につける機会を部会で模索しております。講座や教室といった機会を設けるのも1つなのですが、先ほどの保育園の交流事業や健診センターでのチラシの設置のように、何かの集まりの機会にあわせて出向かせていただいております。お話させてもらったり、チラシを配布させていただくなど、みなさんのお立場で考えられる普及啓発の場や方法について、ご意見いただきますようよろしくお願いします。

続きまして、資料11ページ、12ページをご覧ください。こちらは、これまでの各部会の取り組み内容を、年度ごとにまとめたものになります。こちらの内容につきましても目をお通しいただき、ご意見等いただければ、と思います。

以上で、各部会からの報告を終わります。

(会長) ありがとうございます。

第2次計画の中で重点施策に関する項目を盛り込んでいますが、その内容に関する取り組み進捗状況について、それから各部会の今年度の取り組み内容について、以上2点について、ただいま事務局より報告がありました。只今の報告について、疑問に思ったことや印象に残ったこと等を委員のみなさんにお聞きしたいと思います。

まず、1ページにあります「重点施策」について、お一人ずつ、順番にお伺いしたいと思います。

重点施策の1点目、「地域で支える健康づくりの推進」について、どなたかご意見ありますでしょうか。

(委員) では、よろしいでしょうか。

私達保健連絡員は、保健センターにご協力いただいて、ウォーキングや健康イベントを各地域で開催しております。

参加状況をみますと、どうしても同じような方ばかりが参加しているような様子が見受けられまして、出てこられない方への対策があれば良いな、と考えております。また、健康分野に関する勉強を「学習会」という形でさせていただいております。これをどうやって地域の方に還元していこうか、お伝えできるかな、というのが課題だと感じています。以上です。

(会長) ご意見ありがとうございます。

これは、昔からある課題かと思いますが、なかなか出てこられない方をいかに参加させていくか、ということだと思うんですけども、こちらに関しては今後また、限界はあると思いますが、保健センターと協力しながら取り組んでいただきたいと思います。これについて、保健センターから、ひと言お願いします。

(事務局) ありがとうございます。

これについては、なかなか大きなテーマではありますが、保健センターだけではなく、地域の皆様方のお力をお借りし、保健連絡員の皆様と相談させていただきながら、課題を共有しつつ取組んでいきたいと考えております。

(会長) 他にご意見いただけますでしょうか。

(委員) 区長を担っておりますが、地域の保健連絡員と協力しまして、地区の健康展を8月に開催しましたが、参加者の状況をみるとやはり年配の方が多い傾向にあります。私は老人会の会長も担っており、老人会の会員には声かけして参加を促しました。日曜日に開催しているが、なかなか若い世代の参加がなく、この辺が課題ではないかと思えます。

(会長) なかなか難しいところですが、各方面工夫しながら取組んでいていただきたいと思えます。

(会長) 続いて、重点施策の2点目、働く世代の健診・検診受診率の向上についてですが、これについてご意見いただきたいと思えますがいかがでしょうか。
森先生、いかがでしょうか。

(委員) 以前は住民健診という形で保健センターを中心に地域の健診を実施していましたが、現在は特定健診・保健指導として取組んでおります。これは保険者が担うというのが特徴でして、平成20年より実施しています。がん検診については、従来通り市が実施主体となっておりまして、実施主体が異なるというのが課題と認識しています。

特に、保険者さんの力関係の部分が、企業によって様々というのが大きな課題で、中でも、中小企業を束ねる協会けんぽが弱者であり、特に協会けんぽの被扶養者、奥さん方に対する部分を何とかできないか、ということで人間ドック等といった取組みを協会けんぽと協働して、現在実施しているところです。特定健診は働く世代を主として実施している事業であり、地域住民をここに合わせて行うというのは多少無理があるのも事実です。保険者さんの力関係の部分の課題を補うといった意味においては、協会けんぽとの協働事業の取組みは非常に良い取組みではないかと思えます。以上です。

(会長) ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

(委員) 市議会議員は4月に案内がくるので、私はそれで予約をとって受診しています。

私は 44 歳で若い部類に入るのかどうかわかりませんが、周りを見ると特に自営業の方は健診に出向く人が少ない、健診にあまり必要性を感じていない人が多いように感じます。健診は受けなければいけないし、がんも気付いた時には手遅れといったことも多く、友人で亡くなっている人もいる中で、若い人達にもう少し、年に 1 回で良いのですから、何とか受診してもらう機会を持ってもらえるような策をうったり、PR をしていくことが重要だと感じました。

(会長) ありがとうございました。
 なかなか難しいところですが、各方面工夫して取組んでいていただきたいと思えます。

(会長) 続いて 3 点目、糖尿病重症化予防に関する項目について、ご意見をお願いします。

(委員) 受診勧奨の通知についてですが、最初に受診したところと異なる医院へ受診されますと、次の医院は何のことか理解が難しい場合があります。この改善策として、必ず受けたところへ受診するか、または、受診結果を持参の上で違う医院を受診するよう周知を徹底していただきたいと思えます。

(事務局) ありがとうございました。
 これについては、新規の取組みでして、市役所保険年金課より、まだ最近、通知を発送したというように聞いております。これは、特定健診を受診した人のうち、ハイリスク者への対応ということで行っておりますが、早急に保険年金課にも確認を取り、次の機会から取組んでいきたいと思えます。

(委員) 一点お伺いしたいのですが、この「ハイリスク」とは、何ををもって判別するのですか。

(事務局) 今、手元に数値は持っておりませんが、血液検査の結果によって、例えば HbA1c の値等を見てスクリーニングし、その方が受診しているかどうかをレセプトで確認し、未受診の方のみに通知をお出ししていると担当課からは聞いています。

(委員) ということは、特定保健指導の部分はどうですか。動機付けと積極的に分けられると思うのですが、この分類とはまた別ということでしょうか。

(事務局) こちらで確認しているのは、血液検査の結果によって分類し、かつ受診をされていない方を対象としており、糖尿病の重症化予防対策の 1 つとして始めた事業というように聞いている。

今、市では、データヘルス計画として、検査結果やレセプトに関するデータなど、多方面から健康に関するデータの分析を始めたところでありまして、これを糖尿病重症化予防対策に役立てていこうと考えています。

(会長) 今後、これらも含めて、医師会と保健センターで協議していきたいと思います。

(会長) 健診といえば、子どもの健診は非常に受診率が高いですね。どの健診もいただきたい9割超えていますよね。この点も考慮して、今後の取組みにつなげていただきたいと思います。

次に、各部会の報告について、ご意見いただきたいと思います。まず、栄養部会、これについて、いかがでしょうか。

(委員) ヘルシーメニューの店舗についてですが、ここはすべて禁煙ですか。
当然、こういった取組みを行っていただける店舗であれば禁煙であるかと思うのですが。

(事務局) 全面禁煙かどうかまでは定かではありませんが、せめて分煙を、とは考えています。現在名鉄小牧ホテルさんより申し入れをいただいている状況です。他の店舗については確認をとっていませんが、おそらく分煙ではないか、と認識しています。

(委員) これについては、ぜひ要望項目として取り入れていただきたい。

(会長) ぜひ参考にしていただき、条件の1つに禁煙も入れていただきたいと思います。

(事務局) この件については、たばこ部会と連携して取組んでいきたいと思います。
ありがとうございました。

(会長) 前回の会議で、この条件について、カロリーに関する項目の意見があったかと思いますが、これについてはいかがでしょう。

(事務局) その後、部会の中で検討を重ねたのですが、カロリーの部分で評価するとなかなか厳しい状況になってしまうので、今回提示させていただいた5項目の条件にしようということで意見がまとまりました。

(会長) では続いて、身体活動・運動部会について、ご意見ありますでしょうか。

(委員) ウォーキングのチラシを作っているとのことですが、そこに、歩き方なども入

れていくと良いのではないかと、と思いますが。

(会長) 今、検討されているところかと思いますが、これについて、事務局、いかがでしょう。

(事務局) ありがとうございます。参考にさせていただき、検討していきたいと思います。

(会長) そうですね。ぜひ取り入れていただきたいと思います。また、これをいかに活用していただけるか、という点も含めて検討願いたいと思います。
他にいかがでしょう。ご意見ありますでしょうか。

(委員) 5ページのポスターのイラストですが、これは何ですか。

(事務局) これは、「こまき山」という小牧市の新しいキャラクターです。

(委員) 内容がわかりにくいような気もするのですが。

(委員) よろしいでしょうか。ポスターということなので、内容も重要ですが、掲示場所も、例えば市役所のエレベーターのスイッチの横にもう少し小さいサイズで良いと思うのですが、ボタンのあたりに貼っていただいたり、市内の大きな建物にも協力していただいたりするなどして、ぜひ効果を考えてご検討いただきたいと思います。

(会長) 貴重なご意見、ありがとうございました。
続いて、こころの健康部会について、ご意見ありますでしょうか。

(——意見、特になし——)

続いて、たばこ・アルコール部会、いかがでしょう。

(——意見、特になし——)

ここまでで振り返って、何かあれば、ご意見ください。いかがでしょう。

(委員) 老人会での課題なのですが、認知症についてです。できれば、こういった方々を引っ張り出したいと思うのですが、家族がなかなか出たがらない、というのが現状です。これについて、何とかならないかと考えています。また、一人でも多くの会員が認知症にならないように、その手立てや対策を考えているところです。

(会長) この点については、医師会としても検討していきたいと思えます。ありがとうございました。

続いて、歯の健康部会からご教示いただきたい内容として意見が出されておりますが、この点についてはいかがでしょうか。高木先生、何かございますでしょうか。

(委員) 普及啓発という点については、このあたりがいっぱいいっぱいといったところではないかと思えます。診療室で来院された患者さんお一人お一人にしっかり啓発できるのが一番良いとは思いますが、そこまでの努力が多少足りない状況ではないかと思えます。なかなかそこまでできていないのが現状です。会員にはまた伝えていきますが、広く市民に、となると今の状況は限界なのではないかと思えます。

(会長) なかなか、かかりたくないところを、受診を促すのは難しいですね。

(委員) 無料の受診はがきをいただいても、なかなか行けないのが現状です。

(委員) そうですね。40、50、60、70歳を対象に節目健診を無料で市でやっていただいているのですが、受診率は8%程度です。

(会長) では、有料ならもっと来ないですね。

(委員) そうです。歯が痛くなってからでないと、なかなか受診しないのが現状です。予防ではなかなか行けないですね。

(委員) 歯科としても、かかりつけとはいいながらも、そこまでなりきれていないのが現状だと思います。はがきを持ってくる人も、ほとんどがもともとの患者である場合が多いです。患者さんも60歳、70歳が多いですね。

(事務局) そうですね。60歳の方が割合としては高いように思います。

健康教育の開催や出前講座の開催、といった保健センターからの一方通行なアプローチだけでなく、各団体の集まりの中で、お口の健康について振り返る機会を持ってもらったり、知識を得てもらう機会を作ったり、そういった機会を教えていただけるとありがたいと考えています。

(会長) 糖尿病と歯周病に関するコメントも何かあればあわせてお願いしたいのですがいかがでしょうか。

(委員) 糖尿病と歯周病との関係についてはここ数年認知度もあがり、歯科医師会でも

取組んでいるところですが、先程ハイリスクの取組みについて紹介がありましたが、やはりここへの対策が重要かと思われます。春日井市ではこの取組みをすでに実施していると他の会議でも聞いています。小牧においても、ここへの取組みをしっかりと行っていただくことで、各健診の受診率アップにつながるのではないかと思われます。

(会長) ありがとうございました。

 話はずきないですが、一旦先へ進ませていただきます。

 各部会においては、今日いただきましたご意見を参考にしていただいて、健康いきいきプランの今後の推進に活かしていただき、より充実した取組みにしていきたいと思ひます。

 続きまして、議題（2）平成27年度こまき健康マイレージ事業中間報告について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 今年度より実施しております、「こまき健康マイレージ事業」の中間報告をさせていただきます。

 右上に、H28.2.10 健康日本21こまき計画推進会議 資料2と記載のある資料 及び 別紙2のパンフレットをご覧ください。

 まず、事業概要を説明いたします。

 市が指定する様々な健康づくりメニューに取組むと、規定のポイントが獲得でき、合計100ポイント以上たまると、愛知県内の協力店でサービスを受けることが出来る優待カード「あいち健康づくり応援カードMyCa（まいか）」と交換でき、「健康」と「お得」が一度に得られる、愛知県との協働事業です。

 この事業の目的は、ポイント制度を導入することで、健康づくりに関心がうすい人、仕事や子育てに忙しく健康づくりが二の次になっている人、特に青年期に当たる方々が、健康づくりへの関心を高め、楽しみながら継続できるような環境を作ることにより、生活習慣の改善や受診率の向上など、健康づくりの習慣化を図ることを目的とします。

 今年度の実施内容については、その次のページ 別紙1をご覧ください。

 今年度の実施期間 これは、市民が各種健康づくりメニューに取組む期間をさしますが、平成27年10月1日から平成28年2月29日までの全5ヶ月間で設定いたしました。市民への周知媒体として別紙2にあります、パンフレットを使用しております。

 周知方法については、広報、ホームページ、チラシの配布、ケーブルテレビでの特集放映等で行いました。

 チャレンジ方法については、別紙2 パンフレットの2ページをご覧ください

い。まず、パンフレット配布場所、もしくはホームページよりダウンロードし、このパンフレットを手に入れ、その後、このパンフレット 2 ページに記載がありますように、ステップ 1, 2, 3 という手順でまいかの交換まで行い、協力店で優待サービスを受ける、これが一連の流れになります。

ポイント付与の方法についてですが、まず自主目標については、パンフレットの 5 ページをご覧ください。こちら、自主目標記入欄に各自で記入する項目となり、目標 1 項目につき 1 ポイントと低い設定になっております。

健診・検診チャレンジについては、パンフレット 3 ページに記載のとおり、検診 1 項目につき、10 点～30 点の設定となっております。こちらは、市内各医療機関にご協力いただき、検診実施場所でポイントシールを配布していただいております。

参加チャレンジについては、パンフレット 5 ページに記載がありますとおり、1 講座 10 点として、各イベント会場でスタンプを押していただいております。

今年度対象となった講座・イベントは、68 あり、保健センターの事業のみでなく、市役所の他課が企画する内容のものや、市内各市民センターや地域包括支援センターなどが独自で企画するものなど、健康を切り口に幅広い部署の取組みがポイント付与対象となりました。講座、イベントの一例が資料 3 にございますのであわせてご覧ください。

あいち健康マイレージ協力店については、1 月 25 日現在、愛知県下で 629 店舗、うち、小牧市内では 10 店舗となっております、詳細は別紙 4 に記載のとおりとなりますのであわせてご覧ください。

今年度この取組みを実施し、100 ポイント達成してまいかと交換された方は、1 月末現在で 48 人、今日の段階では 53 人の方が交換を済まされています。参加された方々の参加状況を別紙 5 にまとめてございますのでご覧ください。参加者を男女で比較すると女性が 79% と多くを占めており、年代別の参加状況は、70 歳代が 38%、続いて 60 歳代で 33% と 60、70 代で併せて約 7 割を占める結果となりました。

アンケート結果のうち、3 マイレージに取組んで、体の変化や気持ちの変化はありましたか との問いに、体を動かすよう意識するようになったとの回答が 36 人で全体の 75% という結果を示しました。健康づくりが楽しく感じた、という方は 17 人で全体の 35% という結果でした。

マイレージに関する意見、感想部分については、全体的に肯定的な意見が多い結果となりました。中には、おそらくご夫婦かと思いますが 「家族でお互いに進捗を尋ねあいながら、楽しくチャレンジできた」といった感想もあり、個人での取組みだけでなく、家族間での取組み、会話の 1 コマにもなり得る様子が伺えました。一方で、協力店拡大に関するご要望も寄せられており、より効果的な拡がりを生むためには、協力店の拡大に向けた取組みが必要であり、こういった点も考慮しながら次年度以降の取組みに繋げていきたいと考えております。

以上、こまき健康マイレージの今年度の中間報告を終わります。

(会長) どうもありがとうございました。これに関してご意見ございますでしょうか。

(委員) ポイントを貯める期間について、今年度は半年ほどでしたが、次年度の実施期間はどれ位を予定していますか。

(事務局) 6月を開始時期として、準備しております。終了時期は今年度と同様の時期を考えております。

(会長) 他にいかがでしょう。

(委員) ポイントのサービスがもっと良くなると良いのですが・・・

(会長) 動機付けの小さなきっかけの一つではあると思いますが、その範疇内で、とお考えいただければ良いと思いますが・・・

(委員) 記念品を聞くと、「じゃあ、参加しないわ」という人も周りにはいます。

(会長) 今年度の参加率は非常に低い。この事業を実施するにあたり、これにかかる時間といった職員の労力、費用対効果を考えると、このまま実施するのか、少し景品を良くするなど何か工夫をするのか、検討が必要ではないか。

(事務局) 今、がんばってポイントを集めて優待を受けようとする、市内では10店舗しか使えないという状況です。この中には、レンタカー店など、なかなか利用する機会が少ないような印象の店舗もあり、店舗の拡大まで至らないのが現状であり、課題です。また、若い世代が参加されていない、この部分も大きな課題です。

もう少し身近なお店での利用が可能になるよう、関係機関に働きかけていき、参加者の増加につながるような努力をしていくことが1つと、もう一点、今日の会議の中でも話題に上がっていますが、何とか若い世代の人々が健康づくりに参加するためのきっかけの1つとして、興味深く継続してやっていっていただけるような仕組み作りを検討していきたいと考えています。会長がおっしゃっていただいたように、この事業については、大変な事務量及び予算が発生しているのは事実です。若い世代の人たちをいかに取り込んでいくか、その方策の1つとして関係機関と連携を取りながら、温かく育てていきたいと考えています。

(会長) 取組みを否定するものではないのですが、物事には優先順位もあると思うのでその点も考慮しながらより良いものになるようご検討いただきたいと思います。

(会長) ここまでで、何かご意見ある方はいらっしゃいませんか。

(委員) よろしいでしょうか。先程老人クラブ連合会の方から認知症に関する意見が出されましたが、せっかく現場で感じる課題として挙げて頂いた訳ですから、今日は保健連絡員の方もみえますので、個人情報の兼ね合いもあると思いますが、何か力を合わせて良い方法がないか、みなさまでご検討いただけると良いと思いますがいかがでしょうか。

(会長) そうですね。そういう組織はあるんですよね。個人情報のこともありますが、この辺のことも考慮しながら、ぜひお考えいただきたいですね。

(委員) プライバシーの問題もありますので、なかなか難しいところですが。

(委員) ある地域では、「声かけの会」というのがありまして、「認知症の方を地域で見守りましょう」という意識で取組んでいらっしゃって、こういった活動が広がっていくと良いと思います。

(会長) ありがとうございます。他にどなたかご意見おありですか。

(事務局) 只今の認知症の件ですが、市としましても重要施策として取組んでおります。最終的には、各圏域に地域包括支援センターというのがございまして、ここを基点として認知症地域支援推進員を置かせていただいて、そういった方々のご家族への相談業務を行ったり、また社会福祉協議会や市でもご一報いただければ対応させていただきますのでぜひご利用ください。

(会長) ありがとうございます。こういった機関がうまく機能できるよう連携をお願いしたいと思います。他にいかがでしょうか。ご意見ある方はみえますか。

(委員) マイレージ事業についてですが、よろしいでしょうか。前回の会議で、ご説明いただき、非常に良い事業だと思ったのですが、いざ始まってみると、わが身を振り返るとなかなか取組めないというのが現状です。人間ドックは点数が高いように思いますが実施に至らずという状況です。女性は、ポイントや点数をためて・・・ということもこまめに良くやりますが、男性はなかなか・・・。労力、費用対効果からすると、どこまで必要かと思います。より有効な方法をご検討いただきたいと思います。

(会長) ありがとうございます。他にご意見ございますか。いかがでしょうか。

(——特になし——)

みなさま、ご意見いただきありがとうございます。

本日みなさまよりいただいたご意見を反映させ、事務局においては「第2次 健康日本21こまき計画」並びに「健康マイレージ事業」に取り組んでいただき、小牧にお住まいのみなさんがますます元気に過ごせるように働きかけをお願いしたいと思います。

ご意見も特に無いようですので、以上で議事は終了いたします。事務局へお返しいたします。

(事務局) 後藤会長 はじめ、委員の皆さま、長時間にわたりありがとうございます。

健康マイレージ事業を始めとして、皆さまからいただきましたご意見を事務局で受け止めさせていただきながら、今後、取り組んでまいりたいと思います。

ではこれで、平成27年度第2回健康日本21こまき計画推進会議を終了させていただきたいと存じます。次回の推進会議は、平成28年7月ごろ、健康づくり推進協議会と合わせて開催を予定しております。日時は決まり次第、改めてご連絡させていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。

交通事故が小牧でも多発しております。みなさま、事故にはくれぐれもお気をつけいただき、お帰りくださいますようよろしくお願い致します。

本日はありがとうございます。